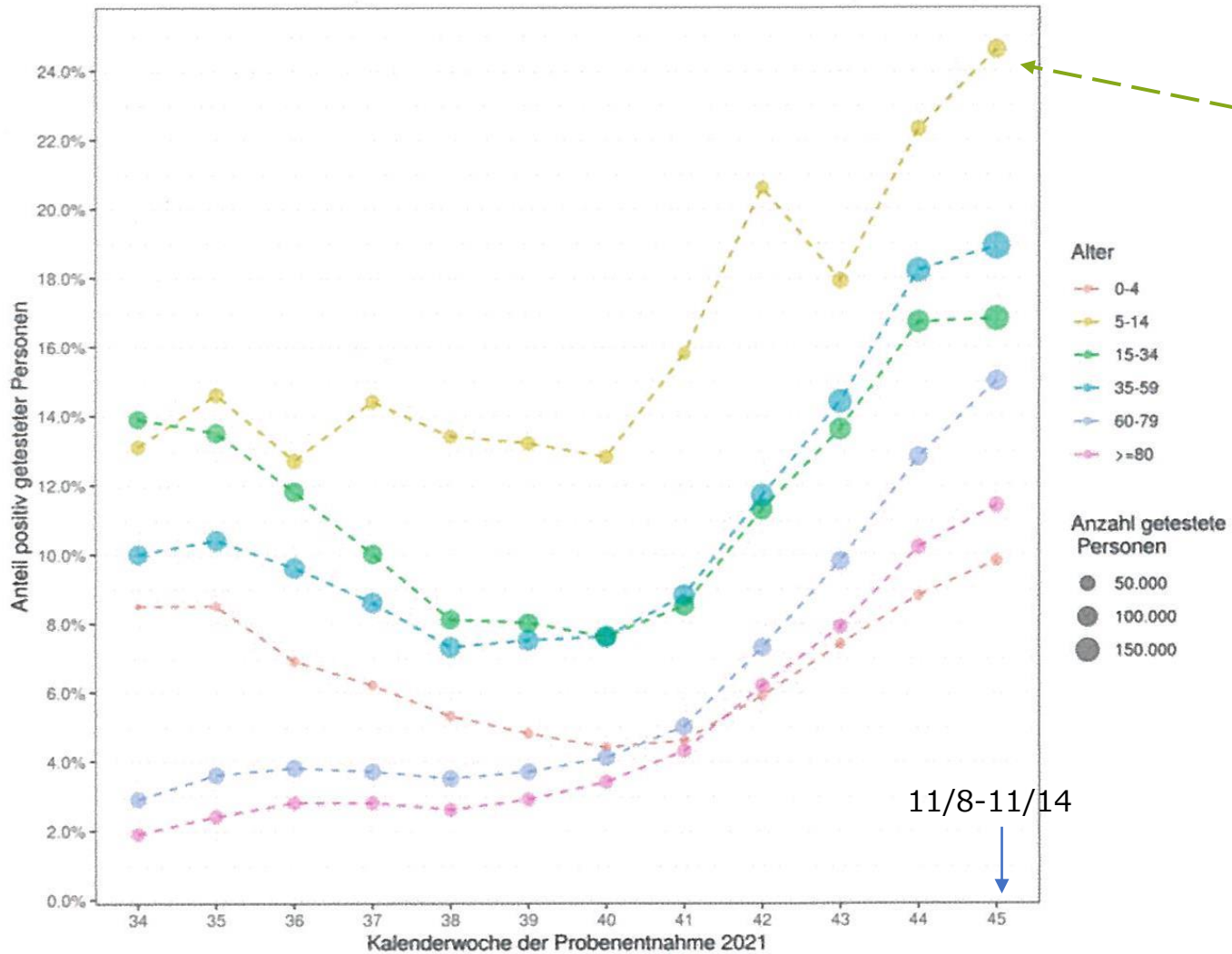


# 5～11歳のワクチン接種について再考



演奏会での小学3年生のスイスの孫

スイスの8歳の孫のクラスで4名の陽性者が出たと連絡が入りました(毎週月曜日にクラス全員の抗原検査がルチーンとの事)。ムムム・・・  
いよいよ他人事ではありません。  
第109報(2021.10.10)で小児のワクチン接種について検討しましたが、第120報では再度、その後の情報を含めて「5～11歳のワクチン接種について」検討させていただきます。



5-14歳

11/8-11/14

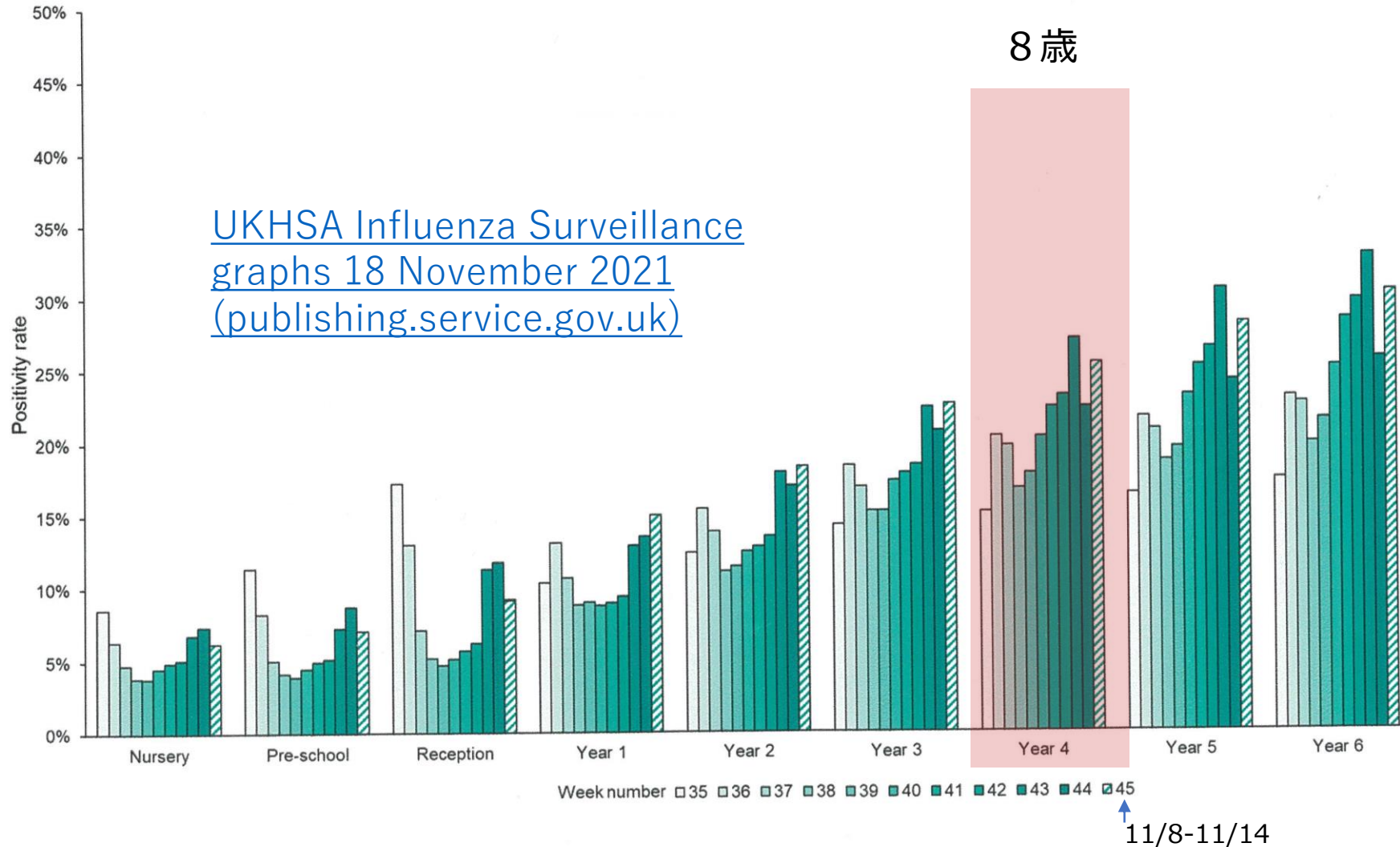
[Wöchentlicher Lagebericht des RKI](#)

Abbildung 20: Anteil der PCR-positiv getesteten Personen von allen im Rahmen der Laborbasierten Surveillance SARS-CoV-2 übermittelten PCR-getesteten Personen nach Kalenderwoche der Probenentnahme und unter Berücksichtigung der Anzahl der getesteten Personen. Die Punktgröße spiegelt die Anzahl der gesamtgetesteten Personen pro Kalenderwoche wider. Dargestellt werden die letzten 12 Kalenderwochen (Datenstand 16.11.2021; 77 übermittelnde Labore).



UK Health Security Agency

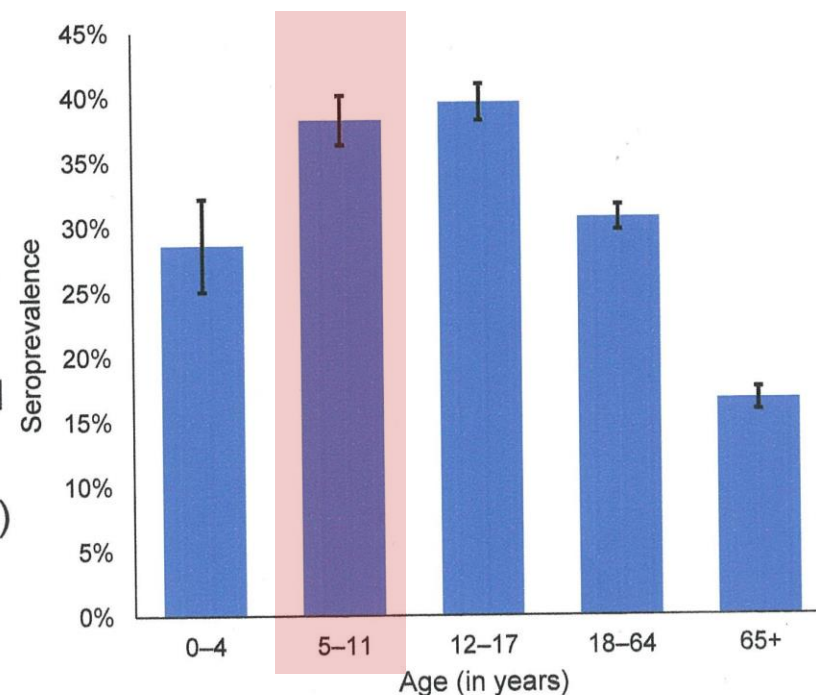
### Weekly PCR positivity rates of COVID-19 cases in educational age cohorts presented by Year group, from nursery to Year 6, weeks 35 to 45





## Weighted Infection-Induced SARS-CoV-2 Seroprevalence By Age Group — 47 U.S. Jurisdictions, Sept 2021

- Seroprevalence in children aged 5–11 years: 38% (95% CI: 36–40%)
  - Higher than estimates among adults
  - Similar to estimates in children aged 12–17 years
- Range for jurisdiction-level estimates for children aged 5–11 years: 11%–61%\*
- Estimates lower than jurisdictions previously presented
- Number of infections per reported case<sup>†</sup>:
  - General population: Median **2.4** (Range: 2.0–3.9)
  - Ages 0–17 years: Median **6.2** (Range: 4.7–8.9)



Data are preliminary and subject to change

\*Restricted to 23 jurisdictions with ≥75 specimens from children aged 5–11 years:

†Jurisdiction-level May–June 2021 estimates restricted to jurisdictions that provided age data for >90% of individual cases: CA, IL, NV, NJ, NC, OH, SC, and TN

米英独では、子供の25%以上がCOVID-19に感染、あるいは感染既往ありです。

日本はどうか？データがありません!! 検査が大好きな民族性を考えると、この間のPCRを含めた検査の貧弱さは、一体どうしたのでしょうか～??

2021/11/2に米国  
で小児へのワクチン  
接種について討議さ  
れた CDC,ACIP の  
資料に基づいた、と  
ても良いオピニオン記  
事です。一読をお勧  
めします。しかし、..



## 11歳以下の子ども達への新型コロナワクチンをどう考える？

紙谷聡 小児感染症科医師、ワクチン学研究者

11/4(木) 6:44




[11歳以下の子ども達への新型コロナワクチンをどう考える？ \(紙谷聡\) - 個人 - Yahoo!ニュース](#)


・・・、米国での小児の概算結果に基づいて、日本での小児へのワクチン接種について推奨意見を展開するのは、如何なものか?と思われる。では、米国の小児の結果とは・・・


5 - 11 歳への 100 万回接種あたり予防できる症例について (米国での概算)

5 - 11 歳の女児


 **57,301** 例の新型コロナウイルス感染症予防

 **191** 例の入院を予防


 **130** 例の多系統炎症性症候群を予防


 **60** 例の集中治療室入室を予防

5 - 11 歳の男児

 **56,954** 例の新型コロナウイルス感染症予防

 **226** 例の入院を予防

 **130** 例の多系統炎症性症候群を予防

 **72** 例の集中治療室入室を予防

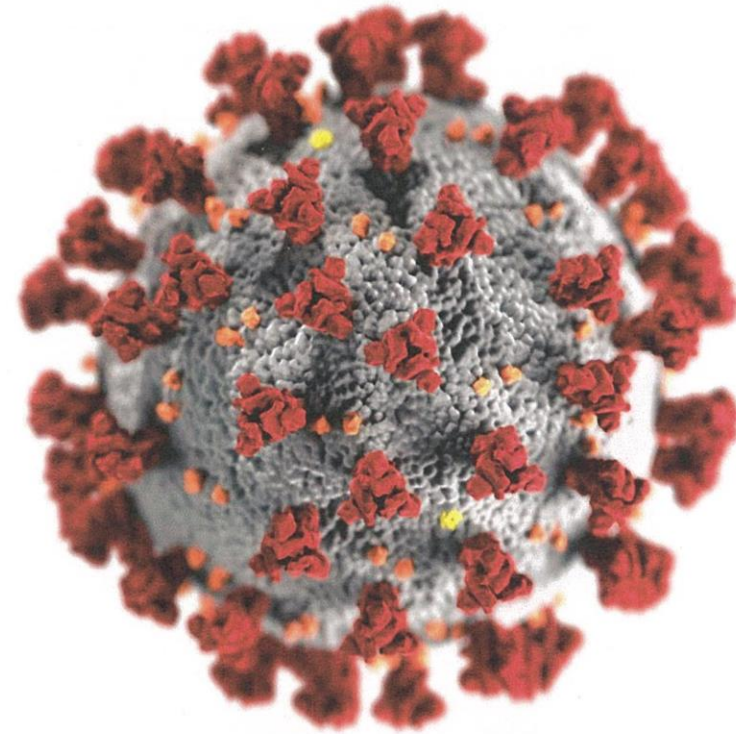
Assumptions: Benefits accrue over 180 days (6 months); VE against symptomatic COVID-19: 90%; VE against hospitalization: 95%  
Data Sources: COVID Data Tracker. <https://covid.cdc.gov/covid-data-tracker/#vaccination-demographic>. COVID Data Tracker [https://covid.cdc.gov/covid-data-tracker/#trends\\_dailycases](https://covid.cdc.gov/covid-data-tracker/#trends_dailycases). COVID-Net [https://gis.cdc.gov/grasp/COVIDNet/COVID19\\_3.html](https://gis.cdc.gov/grasp/COVIDNet/COVID19_3.html). All data are from the week ending on 9/11/2021.



# Epidemiology of COVID-19 in Children Aged 5 – 11 years

**Jefferson Jones, MD, MPH, FAAP**  
**Medical Officer**  
**Epidemiology Task Force**  
**CDC COVID-19 Public Health**  
**Response**

ACIP Meeting  
November 2, 2021

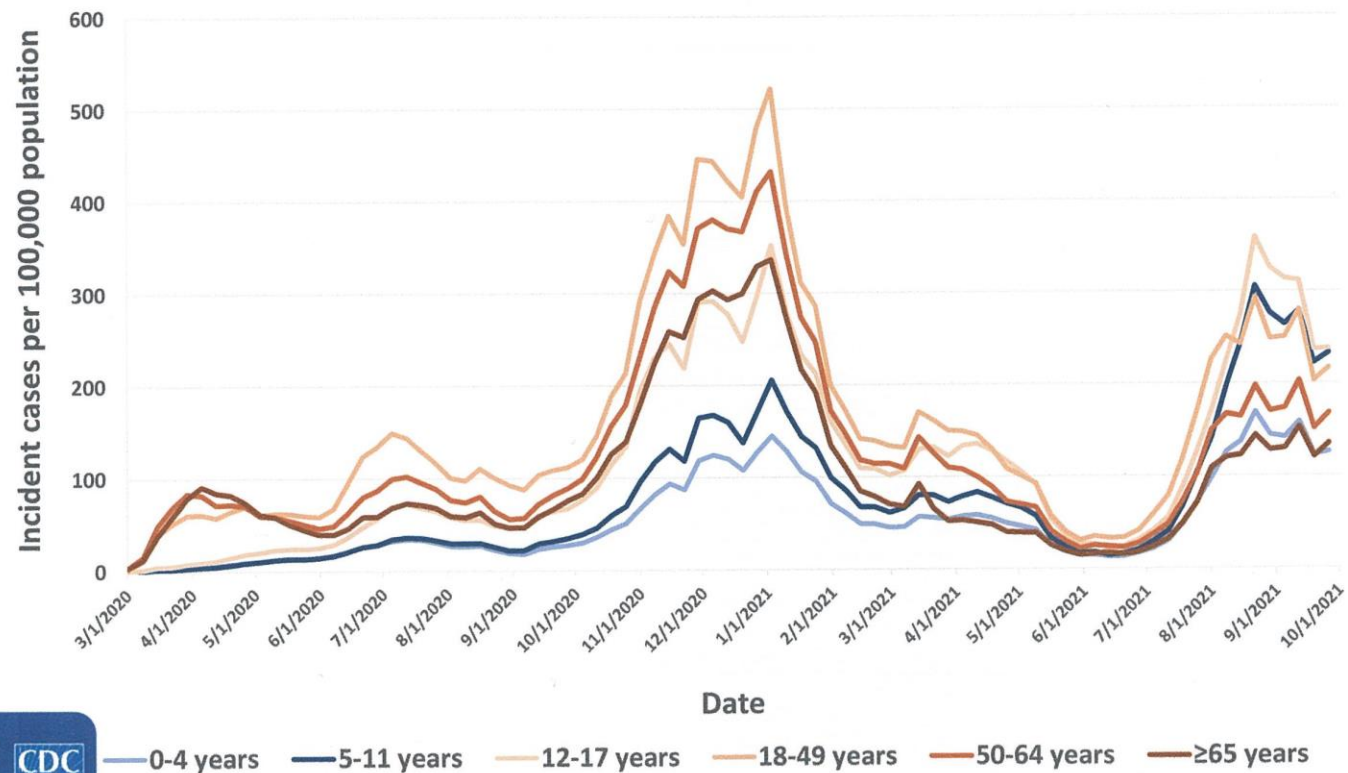


[cdc.gov/coronavirus](https://cdc.gov/coronavirus)



米国では、これまで累計190万人の5～11歳の小児が感染、現在年齢階級別で5～11歳はトップです。

## COVID-19 Weekly Cases per 100,000 Population by Age — United States, March 1, 2020–October 10, 2021



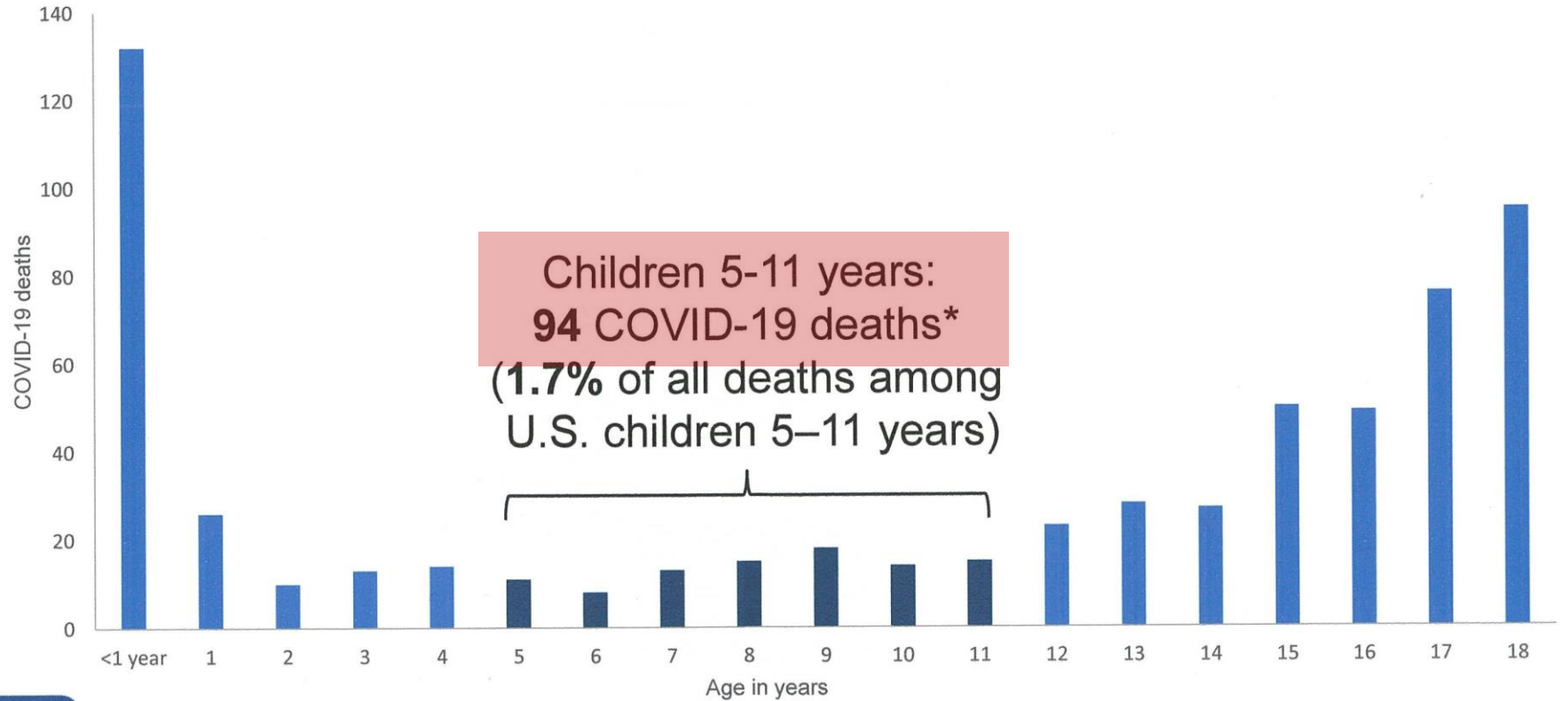
>1.9 million cases among children 5-11 years of age



<https://covid.cdc.gov/covid-data-tracker/#demographicsovertime>

そして、5～11  
歳では94例の  
小児が死亡し  
ています。

## COVID-19 Deaths by Age Group, NCHS — United States. January 1, 2020–October 16, 2021



\*Lag in reporting of deaths might result in underestimate  
<https://data.cdc.gov/NCHS/Provisional-COVID-19-Deaths-Counts-by-Age-in-Years/3apk-4u4f/data>

米国の5～11歳の小児の致死率

$94/1,900,000 \doteq 0.005\%$

日本の全体の致死率

$18,000/1,700,000 \doteq 1.1\%$



一寸、乱暴な比較ですが、これで  
5～11歳の小児にワクチン接種を  
積極的に勧められますか?!

とは言え、討議の為には日本の小  
児の結果が必須です。



## 我が国の10歳未満の結果

	全国 <sup>*</sup> (2021/11/16時点)	日本小児科学会 (2021/11/22時点)	愛知県 (2021/5/30時点)
感染者数	94083	2599	1830
重症	—	9 <sup>**</sup>	0
死亡	0	0	0

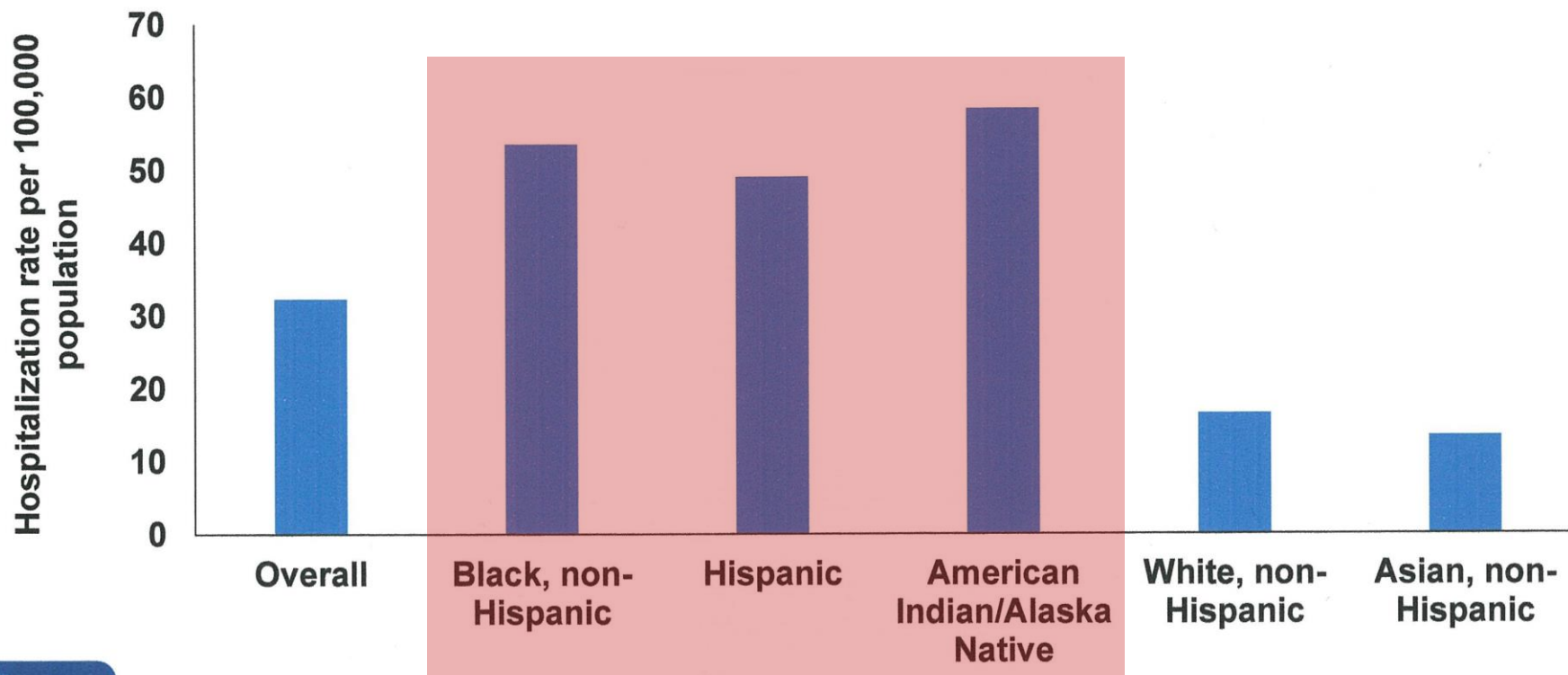
\*厚労省

\*\*5歳未満

調べた限りのデータです。情けないくらい貧弱なデータです。小児科学会、しっかりして下さい。それにしても、米国の致死率0.005%のデータに従えば5人くらい我が国でも死亡例が出て良いはず・・・なぜ？

答えのヒントは、  
米国の人種差  
(格差)にあると  
推測されます。  
右図は入院例  
の比較ですが、  
黒人、ヒスパニッ  
ク系、ネイティブ  
アメリカンが白人、  
アジア系の約4  
倍の頻度です。

## Cumulative COVID-19-Associated Hospitalization Rates by Race and Ethnicity among Children 5-11 Years of Age — COVID-NET, March 1, 2020–October 23, 2021



<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/covid-data/covid-net/purpose-methods.html>, Data are preliminary and subject to change

紙谷先生の意見を我が国にそのまま適用するのは間違いかと考えます。それにしても、討議の為に、我が国の小児のデータを早急に集積、解析、公表するのが強く求められます。



11月15日の  
第26回厚生  
科学審議会  
では・・・

## 新型コロナワクチンの接種について

1. 新型コロナワクチン接種の現状
2. 本日の論点

## 2. 本日の論点：【2】小児（5-11歳）の新型コロナワクチンの接種について

### まとめ

現時点までに得られている、小児（5-11歳）の新型コロナワクチンの接種に係る科学的知見等を整理すると、以下の通り。

- 有効性、安全性の観点から、米国においては、ファイザー社ワクチンの5歳から11歳の小児への接種に対して緊急使用許可を承認（10月29日）したところ。
- 我が国においても、ファイザー社より11月10日に薬事申請が行われているところ。



- 5歳から11歳の小児に対して新型コロナワクチンを接種することについて、どう考えるか。

**ペンディングです**

# 一方、同日の 11月15日の 第80回対策 本部会議で は..

## 新型コロナウイルス感染症対策本部（第80回）

日時：令和3年11月12日（金）

9時20分～9時40分

場所：官邸2階 大ホール

### 議 事 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 議 事

##### （1）新型コロナウイルス感染症への対応について

#### 3. 閉 会

##### （配布資料）

資料1	厚生労働省提出資料
資料2-1	次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像（案）
資料2-2	次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像（概要）
参考資料	新たなレベル分類の考え方（令和3年11月8日新型コロナウイルス感染症対策分科会）

うことにより、急激な感染拡大の抑制を図っていくことを基本として対応する。

また、今後、重症化予防効果の高い経口薬等の利用が可能となれば、仮に感染力が高まって入院を必要とする者の減少が見込まれ、医療現場への負荷も軽減されることが期待されることから、引き続き、経口薬の実用化に向けて、全力で取り組む。

#### 2. ワクチン接種の促進

##### （1）1回目・2回目接種

○ 11月11日公表時点で、1回目の接種率は78.2%、2回目の接種率は74.5%であり、11月中に希望する者への接種を概ね完了する見込みである。

○ 追加接種が開始される12月以降も、若年者を含め1回目・2回目未接種者に対する接種機会を確保する。

○ 小児（12歳未満）へのワクチン接種について、米国や欧州の薬事当局の審査状況を見据えつつ、企業から薬事申請がなされ、承認に至った場合には、厚生科学審議会での了承を得た上で、接種を開始する。

##### （2）追加接種

○ 2回目接種完了から、概ね8か月以降に、追加接種対象者のうち、接種を希望する全ての方が追加接種を受けられるよう、体制を確保する。

#### ア 追加接種のためのワクチンの確保

○ 2回目接種を完了した全ての方が、追加接種の対象者となった場合でも、必要とされるワクチンを確保している。

○ 追加接種では、今年（2021年）供給を受けるワクチンの残余と、来年（2022年）供給を受けるワクチンを用いる。来年（2022年）に関しては、年初頭から順次、3種類のワクチンで3億2,000万回分の供給を受ける契約を締結済みであることから、追加接種に必要なワクチンを確保できる見込みである。











2. 本日の論点：【2】小児（5-11歳）の新型コロナワクチンの接種について

(1) 諸外国の対応状況

小児を対象とした新型コロナワクチンの諸外国における申請・承認状況

現時点で12歳未満の小児への承認がなされたのは米国のみであり、カナダ、フランス、ドイツにおいてはファイザー社による各国当局への申請が確認されている。

国	情報の 発出機関	12歳未満の小児を対象としたワクチンの申請、承認状況
 米国	FDA	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児に対するファイザー社ワクチンの有効性・安全性に加え、以下の理由から、<b>緊急使用許可を承認（10月29日）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>5歳から11歳までの小児にも新型コロナウイルス感染リスクや、死亡・入院を含む重症化リスク<sup>*1</sup>、短期～長期的な後遺症の可能性が、特に基礎疾患を有する子どもに見られる。</li> <li>新型コロナに感染した小児においては小児多系統炎症性症候群を発症するリスクがある。</li> </ul> </li> </ul>
 英国	MHRA	<ul style="list-style-type: none"> <li>（記載なし）</li> </ul>
 カナダ	Health Canada	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイザー社は5歳から11歳までの小児への新型コロナワクチン使用に関して<b>承認申請を提出（10月18日）</b></li> </ul>
 フランス	EMA	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイザー社は5歳から11歳までの小児への新型コロナワクチン使用に関して<b>承認申請を提出（10月15日）</b></li> </ul>
 ドイツ		
 イスラエル	保健省	<ul style="list-style-type: none"> <li>5歳から11歳までの小児への新型コロナワクチン使用は<b>承認されていない</b>。</li> <li>ただし、基礎疾患等を有し、新型コロナウイルス感染による重症化・死亡のリスクが高い者は例外的に接種しうる。</li> </ul>
 国際連合	WHO	<ul style="list-style-type: none"> <li>（記載なし）</li> </ul>
 EU	EMA	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイザー社は5歳から11歳までの小児への新型コロナワクチン使用に関して<b>承認申請を提出（10月18日）</b></li> </ul>

<sup>\*1</sup>: CDCによると、米国では5歳から11歳までの小児について、2021年10月14日時点で180万件の新型コロナ感染報告のうち新型コロナに関連する死亡は143件（10月14日時点）、入院は8,622件（9月18日時点）、小児全体で小児多系統炎症性症候群は5,217件（うち半数が5歳から13歳）（10月4日時点）と報告された。（10月26日 FDA提出資料）

Source: [FDA](#), [Government of Canada](#), [EMA](#), [BioNTech](#), [Israel Ministry of Health](#), [Pfizer](#), [FDA](#)

## 第109報 再掲

子供から大人への感染浸透が惹起されても、大人のワクチン接種が完了してさえいれば、大人の重症化は抑えられます。

私見では「新型コロナウイルスワクチンの12歳未満の小児への接種の推奨度はC、希望が申し出られれば」です。

おそらく、我が国では医学的に小児自身の健康保持の為にワクチン接種を勧奨する科学的根拠は出ないかと推測します。一方で、小児のCOVID-19感染は来年の主要事態になるかと思えます。

子供、保護者に虚言を巡らすことなく、正直に『この接種は君、本人の健康の為ではなく、ちっちゃな弟、妹、お父さん、お母さん、お爺ちゃん、お祖母ちゃんの為、協力してね!!』とお願いして、ワクチン接種を勧める方向が正当かと考えます。このアプローチでの接種なら、私見推奨度は B に格上げです。

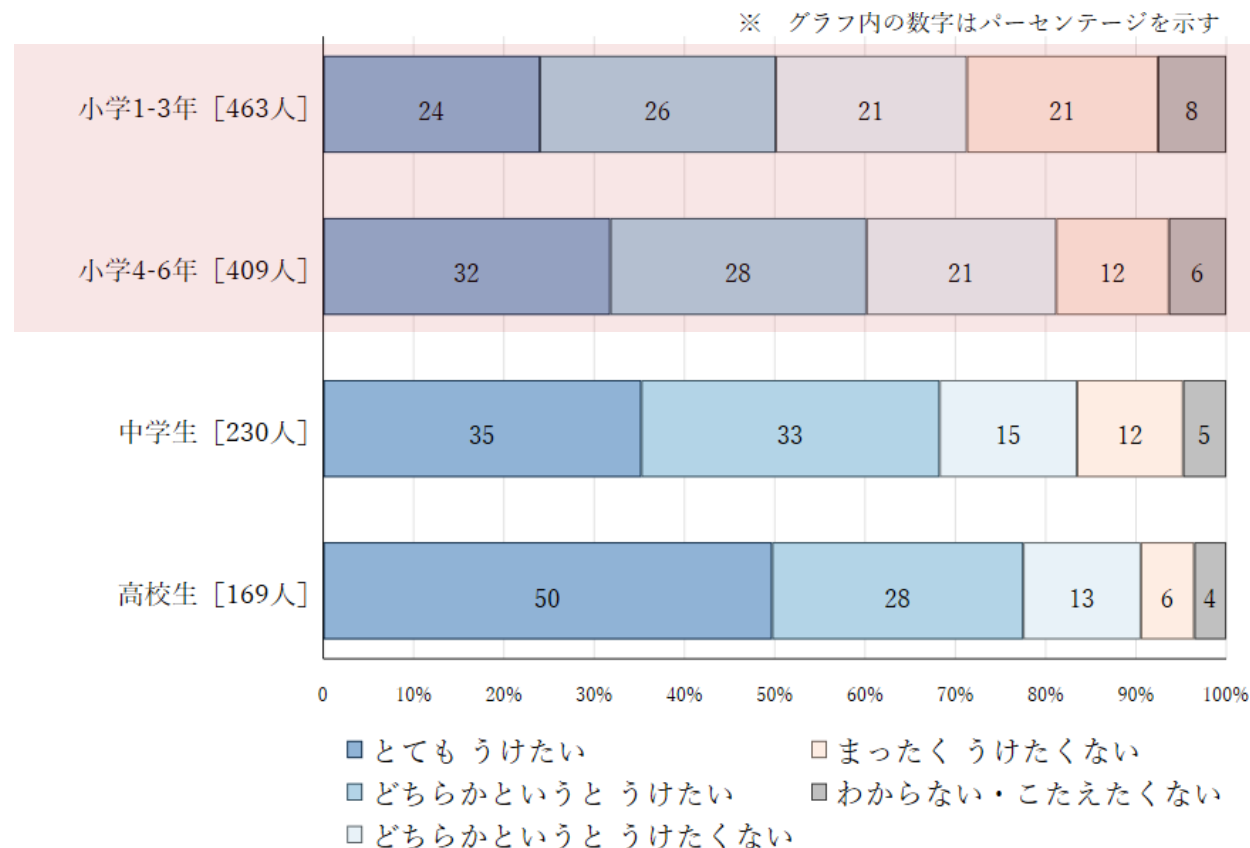
前頁の推奨度Bに註釈,条件を加えましたが、  
日本の多くの子供は、私の想像を越えた「大  
人」のようです。



## 子ども

【小学生】今、小学生の子どももコロナのワクチンを受けられるように、研究が進められています。子どもがワクチンを受けられるようになったら、あなたはすぐにワクチンを受けたいですか？

【中高生】今 12 歳以上の子どもはコロナのワクチンを受けられるようになっています。予約がとれれば、あなたはすぐにワクチンを受けたいですか？（もう受けた方は、受ける前の気持ちをおしえてください。）



→  
子どもの5~6割  
が接種希望

コロナ×子どもアンケート第6回調査 報告書 2021.11.17 国立成育医療研究センター

[コロナ×子どもアンケート第6回調査 報告書 \(ncchd.go.jp\)](https://ncchd.go.jp)

## 保護者

あなたは、あなたのお子さまに、予約がとれればすぐにコロナのワクチンを受けさせたいと思いますか？お子さま本人の考えではなく、あなた自身の考えを教えてください。（お子さまが既にワクチンを受けられている場合は、受ける前の気持ちを思い出して答えてください。）

※現在 12 歳以上のこどもはワクチン接種の対象となっています。お子さまが 12 歳未満の場合は、今後接種対象が拡大されて、お子さまの現在の年齢でワクチンを接種できるように なった場合を想像してお答えください※

